



外国出張報告書

平成 27 年 5 月 7 日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成 27 年 3 月
3. 出張目的 合成性フェロモントラップを用いた害虫個体群密度調査の検証：B

4. 成果の概要

本課題では、タイ東北部のサトウキビ圃場における交信かく乱法によるズイムシ類の防除法を開発するため、害虫個体群密度調査に合成性フェロモントラップが利用できるか検証することとなっている。平成 26 年 9 月に実施した同目的の出張で、生育初期に発生するズイムシの種名と合成性フェロモンの有効性が確認された。本出張では、比較的生育が進んだサトウキビにおける合成性フェロモンの有効性を確認するため、同じ方法の調査を継続して実施した。その結果、生育が進んだサトウキビにおいても、合成性フェロモントラップを用いることで、現地における主要なズイムシ類の密度調査が可能である可能性が高いと推察された。